

## 元気で歩こう会 柳瀬川を下るNO. 4 24. 6. 23



東久留米駅・清瀬駅⇒金山緑地公園⇒  
下宿地域市民センター⇒滝の城址⇒新座  
駅(武蔵野線)・東久留米  
歩行距離 約6<sup>キロ</sup>

「さいかちの木」に遂に会いました。

当会が歩き始めた最初の頃、柳窪の「さいかち窪」でその謂れが木の名前であることを知りました。しかし、残念ながら市内で出会えないまま、清瀬市のHPで柳瀬川流域に5本あることを知りました。ちょうどこの時季、エンドウ豆のさやに似た種がぶら下がっているので判別が容易でした。

滝の城は北条氏照の頃の城跡、後に八王子に移築されたらしく、一説では、市内の滝山の地名は、八王子の滝山城を起点とする「滝山街道」からつけられたといわれています。



下宿地域センターの下流右岸を少し歩くとさいかちの木に会う。



拡大してみるとさやエンドウのような種がぶら下がっている大



樹木である。



下宿地域市民センターに架かる橋、滝の城址の前の橋。



橋を渡ると滝の城址公園に入り、階段を上ると本丸跡である。



本丸跡の碑

柳瀬川は清瀬・金山緑地公園を過ぎると、左岸は所沢市、右岸は清瀬市となり、志木市に至る



城山神社



滝の城は東に柳瀬川、北に東川に囲まれた自然の要塞で、戦国時代の代表的な城の跡。築城者は当時武蔵国の多摩・入間・高麗郡を支配した大石氏である。



新座の駅前で撮影した36名の集合写真。

次回は7月23日(土)8:30東久留米駅2F改札口前集合です。柳瀬川下りNO. 5。